

教科シラバス（工業：情報電子科）

科目名	実習	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		2	5	必修	班単位
使用教科書・副教材・準備物					
各種教科書・筆記用具・ノート・プリントなど					
科目の概要			学習目標		
測定・製作・実験等を通して、関連する知識・技術を習得するとともに、工業に関する広い視野を養い、意欲的な態度を育てるよう構成されている。			工業の各分野における技術への興味・関心を高め、工業に関する視野を養い、意欲的な態度を身に付ける。		
年間学習プログラム					
	学習内容			学習のねらい	
1 学期	1 ① リレーシーケンス制御① ② C言語プログラム実習① ③ 論理回路実習① ④ 動画編集実習① ⑤ 2D-CAD実習① ⑥ リレーシーケンス制御② ⑦ C言語プログラム実習② ⑧ 論理回路実習② ⑨ 動画編集実習② ⑩ 2D-CAD実習②			・製作、制作、計測、実験等から、新しい技術や知識を体験する。 ・続きの実習があるため、前回の実習の復習を行い、知識・技術の定着を図る。 ・幅広い分野の実習を体験し、多くの経験をつむことで、進路選択に役立てることが出来るようにする。	
2 学期	2 ⑪ 情報技術実習① ⑫ 情報技術実習② ⑬ 電子回路製作実習① ⑭ アプリケーション応用実習① ⑮ 電子回路製作実習② ⑯ アプリケーション応用実習②				
3 学期	3 ⑰ 電子回路製作実習③ ⑱ アプリケーション応用実習③ ⑲ 電子回路製作実習④ ⑳ アプリケーション応用実習④ ㉑ 3D-CAD実習① ㉒ 3D-CAD実習②				
評価の観点及び内容					
知識・技術		各種分野の実習に関する知識や技術が身に付いており、産業社会や生活環境における情報技術の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		各種実習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、諸問題の解決を目指した、自ら考え、知識と技術を活用し、創意工夫する能力を身に付けている。 各種実習に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、安全や環境に配慮し実際の仕事を合理的に計画・処理するとともに、その成果を適切に表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度		電子・情報に関する基礎的・基本的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身に付けている。			
評価方法及びその他留意事項					
上記観点ならびに評価方法を総合的に評価する。					